



教育推進室だより

第16号

平成30年5月15日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
電話 60-1241



教育に携わる「やりがい」を支えるもの

教育長 竹内 道則

4月より教育長を拝命しました、竹内道則です。重責ですが、様々な方々の力をお借りしながら役目を果たしていく所存です。よろしく申し上げます。

さて、先日、教育推進室の窓口で教育誌のバックナンバーを探していたところ、武蔵野市教育研究会国語部(当時)発行の文集「けやき」の古い号を見つけました。何気なく見たら、小学校4年の自分の書いた作文を発見しました。題名は「テスト」です。概要は、自分は元々テストは好きでないので、予習はしようとするけれど、忘れてしまい、大体悪い点を取る。おかあちゃんに小言を言われるので、悪い点の時は見せない。好きな科目は良い点も取るが、テストはやらなくてはいけないのでやっています。と、小4の竹内君は作文の中で正直に様々白状していますが、国語部の先生方はどうして「けやき」に載せようとしたのでしょうか。今と同様に、50年前の先生も、子ども同士、あるいは先生や親など大人とのやり取りを通した子どもの素直な感情の表れを愛で、大切に作る気風があったのだと思うのです。

今年度の武蔵野市立小中学校教育研究会総会での挨拶でも触れましたが、新学習指導要領の実施や、子どもを巡る様々な状況、学校の多忙化など課題に取り囲まれているような状況の中で、先生方は目の前の子ども一人一人に向き合っています。一人一人の子どものありのままを受け止めながら、その上で、これからの長い人生で、それぞれいろいろなことに出会い、向き合っていく子どもたちに必要な資質・能力をはぐくむ武蔵野市の教育。その仕事に携わる日々の営みが、誇りにつながるような働き方になってほしい。そして教職の誇りとやりがいを生み出す教育環境の整備や組織の力を高める取り組みを充実していきたいと考えています。武蔵野市の教育に携わる誇りとやりがいが、個々の先生、チームとしての学校の力を高めるスパイラルになるのだと考えているからです。

団塊世代の職員が定年退職を迎えつつあった平成22年に武蔵野市役所で定めた職員行動指針の前文に「私たち職員の使命は、市民のために公共の課題を解決することです。その職務行動の原点には、武蔵野市を誇りに思う気持ちがあります。」という記述があります。この行動指針は、当時のすべての職層の職員が何らかの形で策定にかかわって作った、当時の武蔵野市役所の組織風土のエッセンスを取り込んだものです。武蔵野市職員の中にも、誇りが使命達成のために大切なのだという気風があるのだと受け止めています。

課題の多い新年度にあたって、改めて心がけていきたいと考えています。

平成30年度 武蔵野市教育委員会の教育目標

武蔵野市教育委員会は、子どもたちが、基礎的・基本的な内容を身に付け、豊かな知性や感性、道徳心や体力を育み、人間性豊かに成長することを願い、また、それぞれの市民が、文化的教養を高め、スポーツに親しみ、健康で豊かな人間形成を図ることができるようお願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造性豊かな人間

の育成に向けた教育及び支援を重視します。

また、学校教育及び社会教育を充実し、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を図ります。

そして、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行われなければならないものであるとの認識に立って、すべての市民が教育に参加することを目指します。

また、武蔵野市教育委員会では、この教育目標を達成するために、以下の基本方針等に基づき、学校教育と社会教育の連携を図り、地域の特性を生かした教育を推進するとともに、総合的に教育施策の充実を図っています。

- 【基本方針1】 豊かな心や感性を育む教育の推進
- 【基本方針2】 確かな学力の向上と個性の伸長
- 【基本方針3】 健全育成の推進と体育・健康に関する指導の充実
- 【基本方針4】 社会の変化に対応し、教育課題の解決に向けた取組の推進
- 【基本方針5】 学校経営の改善・充実
- 【基本方針6】 生涯学習・スポーツ事業の充実
- 【基本方針7】 生涯学習の基盤となる施設の整備・充実

詳細は、以下のホームページをご参照ください。

http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/kyoikui/mokuhyo/1007059.html

市立小学校へ、シルバー人材センターから 毎年、雑巾が寄贈されています。



平成23年4月に武蔵野市シルバー人材センターが公益社団法人に認定され、地域貢献を目的とするボランティア活動を子育て支援に繋がる方向でご検討いただき、市立小学校へ雑巾を寄贈していただくことになりました。

それから毎年行われるようになった雑巾の寄贈は昨年で7回目、合計9930枚。会員の方々による手作りの雑巾は、今では小学校で欠かせないものとなっています。

これまでの寄贈枚数

回数	年度	寄贈枚数
1	平成23年度	1,151枚
2	平成24年度	856枚
3	平成25年度	989枚
4	平成26年度	1,461枚
5	平成27年度	1,610枚
6	平成28年度	1,663枚
7	平成29年度	2,200枚

市立小・中学校 平成29年度卒業式 および 平成30年度入学式

平成29年度卒業式が、小学校では3月23日（金）、中学校では3月20日（火）に行われ、小学校873名、中学校633名が卒業しました。

そして、小学校では4月6日（金）、中学校では4月9日（月）に平成30年度入学式が挙行され、小学校1005名、中学校593名の新入生を迎え、児童数5762名、生徒数1825名、合計7587名（4月7日現在）となって市立小・中学校の新年度がスタートしました。



小学校卒業式 最後の登校の様子
背中のランドセルも最後です。



中学校入学式
初めての登校の様子



クラス発表
何組かな？真剣に探します。

平成30年4月1日より清水 健一 教育委員が就任されました。

～ 清水 教育委員よりご挨拶 ～



清水 健一 教育委員

私は、教員・副校長・校長のそれぞれの立場において、20年間武蔵野市にお世話になりました。

武蔵野市の教育のすばらしさは、保護者や地域の皆様が学校に大変協力的なところにあります。その土台の上に、市独自の取り組みであるセカンドスクールなど、児童・生徒にとって価値ある教育活動が実施され大きな成果をあげていることは、特筆すべきことだと思います。このような武蔵野市の教育に、再びかかわることができることを、とても幸せに思います。

将来の日本を担う子どもたちのために全力を尽して参ります。
よろしく願いいたします。

教育委員会事務局の人事異動について

平成30年4月1日付け人事異動により、教育委員会へも新しい方々が着任されました。



福島 文昭 教育部長



小澤 泰斗
統括指導主事



中島 裕人
指導主事

教育部長として、財務部より福島 文昭 部長が着任いたしました。また、木下 雅雄 統括指導主事と角田 毅 指導主事が転出し、新たに小澤 泰斗 統括指導主事と中島 裕人 指導主事が着任いたしました。

教育委員会事務局に新たな風を運んでくださることと期待します。



教育推進室のメンバー

～ 教育推進室にも新メンバーが加わりました。～

天野 理恵 教育推進室長、鈴木 慎弥 主任、そして斉藤 秀司 教育アドバイザー、菅原 このみ 教育アドバイザーの4名です。よろしく願いいたします。

平成 30 年度 初任者研修 開講式

平成 30 年 4 月 17 日、本年度の初任者研修開講式が行われました。

桜野小学校の高橋 由香 教諭が初任者代表として挨拶をしました。「だれでも最初は 1 年生。どきどきするけどドンといけ」という歌のように、自身も 1 年生。失敗することがたくさんある中で、多くを学び 1 日も早く教師として必要な資質・能力を身に付けるよう目標をもって努力していきたい、と熱い決意が述べられました。



平成 30 年度 初任者研修対象者 25 名です。
よろしくお願いいたします!!

シリーズ 初任の先生 “今日もがんばる!” <その 14>

開講式後、福島 文昭 教育部長より「武蔵野市について」、秋山 美栄子 指導課長より「教育公務員としての服務について」の講義を受けました。教育公務員として、学び続けることの必要性や、信用失墜行為の禁止等、職務上・身分上の義務について学びました。

出前授業いたします

～地域で活躍している団体紹介 <その 15>～

クリーンむさしのを推進する会 「糖度測定」

～ 甘～いペットボトルからマイボトルへ ～

ペットボトル飲料は手軽で便利、また街の至る所に自動販売機があり多くの人々に飲まれ、大幅に消費量が増えています。

でも飲んだ後のペットボトルは？

行政や業者が回収するときには多くの燃料が使われます。リサイクルするにしても多量のエネルギーと多額の費用がかかります。

では、ペットボトル飲料そのものについてはどうなのか？

製品には様々な種類がありますが、中にはかなりの糖分を含んでいるものもあります。

そこで私たちは清涼飲料水にはどの程度の糖分が入っているか 4 種類ほどの飲料を選んで、子どもたちに参加してもらおうと、小学校に出向き「糖度測定」を行うことにしました。

28 年度は第一小学校の青少協の「夏まつり」、29 年度は井之頭小学校の青少協の「夏祭り」に参加しました。糖度測定器の「理科の実験」的な雰囲気にはかかれて、次々と子どもたちが測定器を覗き込んでいきます。そして糖分の多さにびっくり。

でももっとびっくりしていたのは付き添いの保護者の方々かもしれません。また意外に多くの子どもたちはマイボトルを「持ってるよ」と見せてくれました。

子どもたちとの会話も楽しく、こんな交流を通して私たちは一人でも多くの方たちが素敵な「マイボトル」のライフスタイルを楽しんでくだされば嬉しいと思っております。



井之頭小青少協夏祭りにて
糖度測定中の様子

【詳細については教育推進室、またはクリーンむさしのを推進する会へお問い合わせください。】
教育推進室 電話：0422-60-1241 / クリーンむさしのを推進する会 電話：080-4805-3926

教育推進室だよりにお気付きの点やご意見がありましたら、教育推進室までお寄せください。